

もりおか mirai おでかけミーティング実施報告書

開催日時	令和6年11月18日（月）午後6時～午後8時			
開催場所	岩手県立大学共通講義棟 207 講義室			
出席者	寺 長 根 浩	千 葉 順 子	工 藤 健 一	竹 田 浩 久
	菊 田 隆	野 中 靖 志	村 田 芳 三	細 川 由香里
	池 野 直 友	伊 勢 志 穂	田 山 俊 悦	中 村 一
	鈴 木 努	後 藤 百合子		
	岩手県立大学学生 21 人			

【開催内容】

寺長根浩議員及び千葉順子議員の司会進行により、工藤盛岡市議会議会運営委員長の挨拶の後、「盛岡市の10年後の未来」をテーマにSOUNDカードを使用したワールドカフェ方式による意見交換を行った。

参加者の所感等は次のとおり。

1 参加学生の所感

○参加しようと思った理由

- ・「市民参加体験」として授業で紹介され、興味があったことについて議員の方に聞いてみたいと思ったから。
- ・授業で「住民参加」の課題があり、盛岡市に興味があったから。
- ・授業で紹介されて知り、自分の住む街について考える良い機会だと思ったため。
- ・議員の皆さんと話す機会はなかなかなく、興味のある内容だったから。
- ・先生に誘われたから。
- ・議員の方々と気軽に話せるのが楽しそうと思った。
- ・自分の意見をどう受け止められるのか気になった。
- ・授業とのつながりがあるため。
- ・直接行政の内部を知り、活動している議員の方と話してみたいと思った。
- ・まちづくりに興味があり、地元以外の自治体の政策について気になったから。
- ・大学内で開催するものだったため参加しやすかった。
- ・自分から行動するきっかけにするため。
- ・授業で紹介があり、意見交換会の場に参加したことがなかったため。

○得られたもの

- ・実際にまちづくりに取り組んでいる方の意見を聞けて今までにない考えを得られた。
- ・様々な視点からの意見を聞くことができ、それぞれの考える「盛岡市の現状→未来」への取り組みについて知ることができた。
- ・議員の方々は、盛岡市に対して様々な思いがあるということを知ることができた。
- ・議員の方々をはじめ、学生同士での意見の共有ができ、それぞれの考え方や新しい気づきを得られた。
- ・様々な考えを持つ方々と意見を交わす力を得ることができた。
- ・盛岡は挨拶が希薄であったことを知ることができた。
- ・発言する力や街について考える力を得ることができた。
- ・議員の方々の考えを直接聞くことができ、新鮮で参考になる部分が多かった。
- ・男女平等や文化についての意見は、年齢によって違うと思っていたが、同じだったという学びを得ることができた。
- ・意見を否定されないことで安心した。
- ・思っていたよりも、議員の方々と価値観や考えが似ているところがあった。
- ・学生と議員の交流を通して、今の盛岡についてどのような考えを持つ人々が集まっているのかを知る経験ができた。
- ・学生目線で思っている課題と議員の方々の考えている課題が違っているのが印象的。
- ・盛岡以外にも視野を広げて話す議員のビジョンなど、得られたものは大きかった。これをどこまで実務や政策に落としていくかが行政の役割になるのだろうと思った。
- ・グループ内での自分の発言することやコミュニケーション能力。
- ・意見を共有し合うことによって、自分が思いつかなかった考えをたくさん得られた。
- ・未来についてたくさんの人と話すことができてとても楽しかった。また参加したい。
- ・議員の方が持っている価値観や問題意識を知ることができた。

○議員の雰囲気

- ・所属政党や公約の違いから対立的なのかと思ったが、仲の良い雰囲気を感じた。
- ・「地域のおじいちゃん」のような感じ。
- ・スーツを着てきちんとしているがフレンドリー。
- ・話しやすく、考え方も様々な人が多く、おもしろかった。
- ・堅い雰囲気がなく、笑ったりうなずいたり話を広げてくれて明るい雰囲気だった。
- ・意見を聞いていただき、いろいろな話題を投げかけてくれてありがたかった。
- ・穏やかだが色々な言葉が出てくる。もう少しフリーディスカッションをしたかった。
- ・元気で話好き。
- ・怖い人たちだと思っていたが、とても明るくて楽しかった。
- ・若者のつたない意見を真剣に聞いていただき嬉しかった。

2 参加議員の所感

○参加しての所感

- ・学生の着眼点にあらためて感服した。
- ・学生の真剣な態度に好感を持った。新しい事への意欲がある半面飛躍しすぎという感じがある。
- ・10年後の盛岡への期待は薄いと感じた。現状からの発展的な発想がない。
- ・楽しい時間を過ごした。今後も継続して実施して欲しい。
- ・若い学生の意見をたくさん聞けて良かった。もう少し時間があればもっと議論が深まったと思う。
- ・少し慌ただしい進行だったので見直しをした方がいいと思われる。
- ・とても素晴らしかった。未来が明るくなる。
- ・学生の意見や考えを聞き、今後の在り方や盛岡への思いについて参考になった。
- ・まちづくりについて意見を持っている学生が多いことに驚いた。
- ・学生が積極的に発言されていて、新鮮で良い刺激をもらった。
- ・若い方々も挨拶の必要性を感じていることをあらためて実感した。
- ・学生の鋭い指摘などにより新たな気づきがあった。時代を作るのは若者と再認識。

○意見交換の内容やテーマについての所感

- ・「10年後の盛岡」をベースに、5年後や30年後、自分が30歳になったときや60歳になったときなど様々なシチュエーションの設定もよいかもしれない。
- ・カードに書かれている設問が面倒。
- ・盛岡在住の学生が少なく、テーマに関しての発想が乏しい。
- ・多国籍の交流を推進しようとの意見が多く出た。
- ・大学2年生の為か社会人としての現状把握が弱い。「学生としての夢」「将来の希望」などをテーマにすれば活発な意見が出ると思う。
- ・ワールドカフェ方式は色々な人事交流が出来て良いが、テーマが硬い。
- ・10年後の盛岡だけでなく、5年後15年後についても語り合えればよいかもしれない。
- ・若い方々が10年後を考え、率直に思いを語る姿が頼もしい。
- ・サウンドカードの理解に少し時間がかかった。事前練習やサウンドカードにとらわれずに自由なワールドカフェ形式での語り合いが良いかもしれない。
- ・少し駆け足での進行かもしれない。もう少し深掘できる話を聞きたかった。
- ・若い人もマナーを守ることの必要性を感じている。
- ・議員では思いつかないような意見がたくさん出て大いに盛り上がった。今住んでいる所への愛着は年齢や立場で変わらないことも再認識した。
- ・テーマも堅苦しいものではなかったので学生も答えやすかったと思う。

○意見交換の中で出された意見（心に残った言葉）や所感

- ・若い人たちはもちろん、世代を超えた話ができる場が欲しい。
- ・大学生を中心に企画する場合、卒業後の希望を聞きたかった。
- ・高校生議会のような大学生との交流や、3大学が一堂に会した意見交換会等が企画出来たら良いと思う。
- ・教育予算の拡充を求める声や、10年後にはAIの進化で社会の在り方（子供や老人に優しいまちづくり）を変えるようにする声が印象的だった。
- ・「盛岡は自分の出身地と異なり文化的な街」「外からの視点が大切なものをあぶりだす」「否定から入らず、自分の常識を疑い続ける」
- ・人口減少、自然災害、街の発展については共通して感じるものがあること。
- ・バス等で席を譲らないことを取り上げ、譲り合える雰囲気を作ることが大切。
- ・外国人観光客への英語表記の案内表示が少ないことや10年後には英語などで観光案内をする人が不足するのではという鋭い指摘があった。若者も社会を担う大人として育っていると嬉しく思った。

3意見交換会の振り返り（当日の個人ワークより）

10年後にあって欲しい盛岡の姿	それに向けて取り組みたいこと（または、必要なこと）
様々な世代間交流がある街	郊外活動でたくさんの人と出会い、交流をする
自分たちで考え、自分たちで実現できる自給自足できる街	公共交通としての自動運転の普及や観光資源の開発など
どの世代の意見も反映される街	意見を言う場を増やし、SNSも活用した情報提供
地域の専門家を大切にする街	自分の学部での研究を突き詰める
素直さを持った街	相手の話を否定から入らず素直に受け取る
文化を大切にし、多様な人々が住みやすく、経済的に豊かな街	自分たちの意見を議会に伝えること
今と変わらない自然、歴史的建造物と新たな店舗やイベントが共存する街	これからを担う学生の視点からのまちづくりや外の人に盛岡を知ってもらうための取り組み、新しい考えを持つ若者と知識と経験を持つ大人との協働
活気のある街	文化伝統歴史の継承とイベントの参加や企画。ただし無理な都市化を進めない
	公共交通網の充実と若者の集まる場所が必要
	社会に出て盛岡や岩手県に貢献できるよう、大学生活でしっかり学んで行く
子ども一人一人に充実した教育	子育て支援の拡充や教育資金を充実させるよう、議会

や将来に不安がない子育て環境がある街	でしっかり話し合っていく
「全員に優しい、全員が優しい」街	市民参加のイベントに積極的に参加して意見を述べる。譲る気持ちを大切にし、困っている人がいたら積極的に助ける
他人に思いやりがあり、賑わいがある街	議員の方とお話しできる機会があったときに積極的に参加。思いやりのある行動をしてそれが広がっていく
誰もが安全安心に暮らせる街	AI 技術を活用した移動がスムーズな街。声掛けをして孤立を防ぐ
子どもたちの明るい笑顔が輝く街	教育に予算をかける。男女平等を定着させる。市議会議員の男女同数を目指す
一人一人が明るく誰にでも寄り添える街	挨拶や思いやりの心などを普段から意識する 地域コミュニティを大切にし、地域行事に参加する。自ら挨拶をし、出会った人との会話を大事にする
地域の住民や地域外の人と気軽に関わることができる街	今回のようなイベントに積極的に参加し、初めて会う人と意見を交わす
誰もが好きなことに挑戦できる街	自分がやりたいことに勇気を持って挑戦し情報発信をする。自分の意見を選挙や住民参加などで伝える
住んでいるすべての人が共生できる街	学生の立場から若者の声を発信していくようにしたい
誰もがチャレンジでき、戻ってきたいと思う街	学生としてどんな制度や体制が必要になるのか研究していきたい
誰でも自分の気持ちを大事にできる街。困り事に寄り添える街	様々なイベントに参加し、いろいろな人と交流をしてその人の思いと現状を知る
外国人が地域住民に溶け込んでいる街	外国人向けのマップや生活上の不安などを話し合えるような機会が必要。日本人がマナーを守っている姿を見せることでマナーを守るように伝える。様々な人との生活の中で関わり助け合う必要がある。
ニーズに合った公共交通機関が発展した街	不便に思う場面などの意見を積極的に伝えることが必要

<その他>

- ・これからの盛岡をより良くするため、幅広い方々から話を聞き、一緒に考えて取り組むことが必要。
- ・盛岡の良いところの気風を、多文化共生や支え合いという社会規範として定着させるこ

とが必要。

- ・盛岡らしい歴史や伝統文化、知的集積にあふれた個人が尊重されて助け合いができる街づくりを目指す
- ・率先してごみを拾うことできれいな街にし、自分から挨拶を交わすことでお互いに挨拶をし、犯罪のない街にしたい。
- ・避難所や避難時の経路の確保など自然災害に強い街に。
- ・古いものを残してほしいという気持ちが若い人にあると感じた。
- ・オリンピック選手が出るなどスポーツで盛岡が元気になるようになってほしい。
- ・若者の農業参加や創業家育成制度の確立など、行政の支援が日本一の街に。
- ・若い方々がたくさん住みたいと思える盛岡になってほしい。
- ・盛岡の魅力を常に発信していく市民の方や、未来のための学生議会を作りたい。
- ・人口減少に向けた一層の取り組みとして、多様性を認め、他国文化の尊重と融合、空き家対策や撤去補助などが必要。
- ・教育体制の整備、公共機関の充実、外国人観光客に向けた取り組み、勉強スペースの確保が必要。今回のような話し合いの場に積極的に参加したい。